

平成30年度 指定管理業務 実績評価シート

部課名 市民生活部
文化スポーツ課

施設名	弘前市立温水プール石川
施設の設置目的	市民一人一人の健康増進と体力づくりのため、児童・生徒から高齢者まで各世代にあった各種競技スポーツ及び生涯スポーツとして軽スポーツ・レクリエーションスポーツの普及・推進を図るため設置したものである。
所在地	弘前市大字小金崎字村元125番地
指定管理者名	公益財団法人弘前市体育協会
指定期間	平成26年4月1日から令和6年3月31日まで
<p>1 事業計画の実施状況</p> <p>施設の設置目的を理解し、協定書、監理業務基準書及び事業計画書に基づいて、概ね計画通りに実施されている。 施設の維持管理については、職員間の情報共有や他指定管理施設との連携により適正な管理運営を実施している。</p>	
<p>2 自主事業の実施状況</p> <p>水泳用品・アメニティグッズ・サプリメントを販売した。施設の特色やスタッフのスキルを活かしたフィットネス並びに文化イベントに関する事業を行った。ニーズ調査により、アイスの自動販売機を導入した。</p>	
<p>3 市民サービス向上のための取組状況</p> <p>安全管理、事業やサービス提供に関するもの、管理職の管理能力向上に関するもの等の各部会を設立し、会議・研修・研究会を実施し、管理体制の強化とサービス向上に努めている。パンフレット、月間予定表、ホームページ、SNS(フェイスブック)、館内掲示物により情報提供に努めている。 また、施設の特性とニーズに合わせた収益事業を展開するなど、積極的に取り組んでいる。</p>	
<p>4 市民ニーズの把握の実施状況</p> <p>ご意見箱、ホームページでのお客様の声、SNS(Facebook)での問い合わせなどを行い把握に努めた。また、期間を定めた集中アンケートの実施や自主事業実施の際にアンケート用紙を配布し、意見を収集した。</p>	
<p>5 施設の利用状況（利用者数、稼働率など）</p> <p>利用団体数814件(前年比94.1%)、利用人数47,925人(前年比94.5%)、使用料3,195,630円(前年比87.3%)温水プールは前年度利用実績を維持できているが、減免利用団体の利用増により使用料は減っている。会議室は映像機材保有の関係から年々利用が減っている。研修室は卓球利用の減により人数は減ったが団体利用により使用料は伸びた。健康ルームは、高齢者健康トレーニング教室と同じような教室(市街地開催)への流出、運転困難者の増加などの要因で利用人数が減少した。</p>	
<p>6 指定管理業務の収支状況</p> <p>再委託業務仕様内容の変更(必要度の査定及び近似業務の統一化)、計画的な修繕実施計画、計画的な経費執行等により、適正に行われている。</p>	

7 実地調査の結果

自主事業の積極的な取り組みや、施設の維持管理・運営は概ね適正に実施されている。

8 成果指標の達成度

利用件数:目標 234件 実績 814件 達成度:348%
 利用件数:目標 29,530人 実績 47,925人 達成度:162%

9 評価

(1) 指定管理者の自己評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	従来の維持管理の水準を維持した上で、利用者の安全管理、サービス提供をおおよそ実施することが出来たため。	使用料の取り扱い等についてコンプライアンスを徹底させるための職員研修を実施し、定期的な内部会計監査を実施したが、今後も継続的な実施が必要である。
施設の管理	B	利用者の安全を第一に緊急時(災害)対策に努めるとともに、個人情報・文書・備品等の管理を実施した。また、指定管理料の範囲内で施設の維持管理を実施できた。	より効率的な計画の実施と職員の管理業務の能力向上が必要である。
経理の状況	A	指定管理料の長期的な執行計画を基に適正に執行できたため。	指定管理料を超える不測の事態(修繕)に備えた予算確保
団体の財務状況	B	指定管理料及び収益事業を適正に管理し予算範囲内で財務状況を維持できたため。	組織全体のより具体的な長期的財務執行計画の構築が必要である。

(2) 市の指定管理者に対する評価

評価区分	評価	評価の説明	今後の課題と対応
施設の運営	B	適正な施設運営や自主事業の開催を行っている。	職員の資質向上と利用者ニーズの把握を図り、適正な施設運営と地域に密着した自主事業の展開などに期待する。
施設の管理	B	快適な施設環境作りと安全対策や緊急時対策を図っており、また個人情報や文書や文書等の管理も適切に管理している。	長期的な視点での施設備品類の老朽化に伴う安全管理を進めていただく。
経理の状況	B	収支状況、経費の削減、帳簿等の整備・保管について、概ね適正に実施している。	今後も適正な経理執行に努めていただく。
団体の財務状況	B	自主事業等による収益もあり、安定した経理的基盤を有している。	今後も安定した財務状況を維持していただく。

【評価の視点】

評価区分	評価の視点
施設の運営	法令等の遵守、使用許可、市の指定事業、付随業務、自主事業、公平性、職員配置・研修、開館時間・休館日、職員の接遇、利用者ニーズの把握・反映、事業計画の実施状況、業務報告など
施設の管理	利用者の安全対策、施設・設備の維持管理、個人情報の管理、文書等の管理、備品等の管理、緊急時対策、災害対策など
経理の状況	帳票等の整備、経理の区分、収支状況、経費の削減、帳簿等の保管状況など
団体の財務状況	安定的な施設の管理が可能な経理的基盤を有しているか

【評価の基準】

A	協定書・基準書等の内容を超える管理運営が行われたと判断できるもの (適正な管理運営に加えて、更なる取組みや成果があると評価できるもの)
B	協定書・基準書等の内容を概ね適正に実施していると判断できるもの (軽微な改善点はあったが、速やかに改善されているもの)
C	協定書等の内容に対して改善点はあったが、適切な改善策が講じられているもの
D	協定書等の内容に対して不履行があるものや、改善がなされていないものがあるもの

※「団体の財務状況」の評価基準

B	問題がない
C	今後に注意を要する
D	早急な改善を要する